

戸籍附票システム
機能・帳票要件(第3.0版) 機能・帳票要件

【実装区分の凡例】◎:実装必須機能、○:実装オプション機能、×:実装不可機能、-:対象外

要件種別	機能名称			機能ID	機能要件	第2.1版			第3.0版案			適合基準日	
	大分類	中分類	小分類			実装区分			機能要件	実装区分			
						指定都市	中核市	一般市区町村		指定都市	中核市		一般市区町村
機能要件	1 管理項目	1.1 戸籍の附票データ	1.1.1 戸籍の附票データの管理	0040261	戸籍の附票に記載されている者(削除となった者も含む。)について、以下の項目を管理すること。 (シート「項目詳細一覧」を参照)	◎	◎	◎	戸籍の附票に記載されている者(削除となった者も含む。)について、以下の項目を管理すること。 (シート「項目詳細一覧」を参照)	◎	◎	◎	令和8年4月1日
機能要件	1 管理項目	1.1 戸籍の附票データ	1.1.1 戸籍の附票データの管理	0040002	上記の項目の一部(戸籍の表示(本籍・筆頭者)、氏名、生年月日、性別等)については、戸籍情報システム等の戸籍附票システム以外のシステムでのデータベースの構築も可能とするが、その場合でも、30.1(データ構造)に規定する最新データの保持と、戸籍附票システムの端末画面上でデータベースを確認できる機能を備えること。	◎	◎	◎	また、以下の項目の一部(戸籍の表示(本籍・筆頭者)、氏名、 氏名の振り仮名 、生年月日、性別等)については、戸籍情報システム等の戸籍附票システム以外のシステムでのデータベースの構築も可能とするが、その場合でも、30.1(データ構造)に規定する最新データの保持と、戸籍附票システムの端末画面上でデータベースを確認できる機能を備えること。	◎	◎	◎	令和8年4月1日
機能要件	1 管理項目	1.1 戸籍の附票データ	1.1.5 空欄	0040024	1.1.1(戸籍の附票データの管理)に規定する項目のうち、以下の項目は、空欄を許容しないこと。その他の項目は、「基本データリスト」を参照すること。 (シート「項目詳細一覧」を参照)	◎	◎	◎	1.1.1(戸籍の附票データの管理)に規定する項目のうち、以下の項目は、空欄を許容しないこと。その他の項目は、「基本データリスト」を参照すること。 (シート「項目詳細一覧」を参照)	◎	◎	◎	令和8年4月1日
機能要件	1 管理項目	1.1 戸籍の附票データ	1.1.13 支援措置対象者管理	0040044	支援措置の実施に当たっては、支援措置対象者の戸籍の附票及び戸籍の附票の除票に支援措置対象者である旨の表示ができるとともに、戸籍附票システム内に以下に掲げる項目のデータベースを構築し、戸籍の附票及び戸籍の附票の除票の当該表示から画面遷移し、支援措置責任者又は支援措置責任者の了承を得た者のみが端末画面上でデータベースを確認できること。 (シート「項目詳細一覧」を参照) 加害者及び併せて支援を求める者については複数人設定できること。 なお、支援措置対象者の氏名及び併せて支援措置を求める者の氏名、戸籍附票宛番号、支援を求める事務、住所等及び支援措置の期間以外の項目については、戸籍附票システム以外のシステムでのデータベースの構築も可能とするが、その場合でも戸籍の附票の支援措置対象者である旨の表示から画面遷移し、端末画面上でデータベースを確認できる機能を備えること。	◎	◎	◎	支援措置の実施に当たっては、支援措置対象者の戸籍の附票及び戸籍の附票の除票に支援措置対象者である旨の表示ができるとともに、戸籍附票システム内に以下に掲げる項目のデータベースを構築し、戸籍の附票及び戸籍の附票の除票の当該表示から画面遷移し、支援措置責任者又は支援措置責任者の了承を得た者のみが端末画面上でデータベースを確認できること。 (シート「項目詳細一覧」を参照) 支援措置対象者の相手方加害者 及び併せて支援を求める者については複数人設定できること。 なお、支援措置対象者の氏名及び併せて支援措置を求める者の氏名、戸籍附票宛番号、支援を求める事務、住所等及び支援措置の期間以外の項目については、戸籍附票システム以外のシステムでのデータベースの構築も可能とするが、その場合でも戸籍の附票の支援措置対象者である旨の表示から画面遷移し、端末画面上でデータベースを確認できる機能を備えること。	◎	◎	◎	令和8年4月1日
機能要件	1 管理項目	1.1 戸籍の附票データ	1.1.15 振り仮名フリガナ	0040046	氏名については、フリガナを管理すること。	◎	◎	◎	氏名については、 氏名の振り仮名フリガナ 及び 氏名の振り仮名公証フラグ(当該振り仮名が法第17条の記載事項として戸籍の附票に記載されているかどうかを示すフラグ) を管理すること。	◎	◎	◎	令和8年4月1日
機能要件	1 管理項目	1.1 戸籍の附票データ	1.1.15 振り仮名フリガナ	追加					氏名の振り仮名については、 カタカナ で管理することとし、CSへの送信の際は 住基ネットの仕様に合わせて送信できること。	◎	◎	◎	令和8年4月1日
機能要件	1 管理項目	1.1 戸籍の附票データ	1.1.15 振り仮名フリガナ	追加					氏名の振り仮名については 拗音及び促音が区別できること。	◎	◎	◎	令和8年4月1日
機能要件	2 検索・照会・操作	2.1 検索	2.1.3 基本検索	0040071	氏名・氏名のフリガナ・生年月日(西暦・和暦)・性別・本籍・筆頭者・住所・住所コード・住民票コードから検索できること。 削除となった者の備考欄に含まれる、誤記があることが判明した場合の記録のうち、誤記修正後の記載である氏名・氏名のフリガナ・生年月日について検索できること。 上記項目のうち空欄を許容している項目に関し、空欄を指定して検索できること。	◎	◎	◎	氏名・氏名の 振り仮名フリガナ ・生年月日(西暦・和暦)・性別・本籍・筆頭者・住所・住所コード・住民票コードから検索できること。また、削除となった者の備考欄に含まれる、誤記があることが判明した場合の記録のうち、誤記修正後の記載である氏名・氏名の 振り仮名フリガナ ・生年月日について検索できること。	◎	◎	◎	令和8年4月1日
機能要件	2 検索・照会・操作	2.1 検索	2.1.3 基本検索	0040075	異動履歴の検索においては、氏名、氏名のフリガナ、住所、住所コード、方書、住民票コード及び本籍については過去履歴を含めて検索し、対象者を特定できること。	◎	◎	◎	異動履歴の検索においては、氏名、 氏名の振り仮名 、住所、住所コード、方書、住民票コード及び本籍については過去履歴を含めて検索し、対象者を特定できること。	◎	◎	◎	令和8年4月1日
機能要件	4 異動	4.1 職権	4.1.3 CSから受信した戸籍の附票記載事項通知及び本籍転属通知の取込	0040132	CSから受信した戸籍の附票記載事項通知及び本籍転属通知に外字が設定されていた場合、外字の字形や文字情報を出力できること。出力先は、戸籍の附票記載事項通知取込一覧表や本籍転属通知取込一覧表への出力、画面への出力等方法は指定しないが、職員の手を介することなくシステムで出力できること。	◎	◎	◎	CSから受信した 戸籍の附票記載事項通知 及び 本籍転属通知 については「 戸籍附票システム改造仕様書II に従い連携されるため、これを適切に処理できること。 CSから受信した戸籍の附票記載事項通知及び本籍転属通知に外字が設定されていた場合、外字の字形や文字情報を出力できること。出力先は、戸籍の附票記載事項通知取込一覧表や本籍転属通知取込一覧表への出力、画面への出力等方法は指定しないが、職員の手を介することなくシステムで出力できること。	◎	◎	◎	令和8年4月1日
機能要件	5 証明	5.3 振り仮名	-	追加					戸籍の附票の写し(全部証明・個人証明)、戸籍の附票の除票の写し(全部証明・個人証明)、戸籍の附票部分証明(行政証明)、在外選挙人名簿及び在外投票人名簿登録者の戸籍又は戸籍の附票の変更通知書において、それぞれの氏名の振り仮名欄に、 法第17条の記載事項として戸籍の附票に記載された氏名の振り仮名をカタカナで記載する。 なお、氏又は名のみ振り仮名を記載する場合は、以下のように記載すること。 (シート「帳票関連項目等一覧」を参照)	◎	◎	◎	令和8年4月1日
機能要件	5 証明	5.3 振り仮名	-	追加					戸籍の附票の写し(全部証明・個人証明)、戸籍の附票の除票の写し(全部証明・個人証明)、戸籍の附票部分証明(行政証明)、在外選挙人名簿及び在外投票人名簿登録者の戸籍又は戸籍の附票の変更通知書の氏名の振り仮名欄以外の項目に、 氏名の振り仮名を記載できること。	×	×	×	

戸籍附票システム
機能・帳票要件(第3.0版) 機能・帳票要件

【実装区分の凡例】◎:実装必須機能、○:実装オプション機能、×:実装不可機能、-:対象外

要件種別	機能名称			機能ID	第2.1版			第3.0版案			適合基準日		
	大分類	中分類	小分類		機能要件	実装区分			機能要件	実装区分			
						指定都市	中核市	一般市区町村		指定都市		中核市	一般市区町村
機能要件	11 エラー・アラート項目	11.1 エラー・アラート項目	-	0040262	論理的には成立するが特に注意を要する入力等(少なくとも「アラート項目一覧」に記載のもの)は、アラート(※)として注意喚起すること。 (シート「エラー・アラート項目一覧」を参照) ※アラート:論理的には成立するが特に注意を要する入力等について、注意喚起の表示を経た上で、当該入力等を確定できるもの	◎	◎	◎	論理的には成立するが特に注意を要する入力等(少なくとも「アラート項目一覧」に記載のもの)は、アラート(※)として注意喚起すること。 (シート「エラー・アラート項目一覧」を参照) ※アラート:論理的には成立するが特に注意を要する入力等について、注意喚起の表示を経た上で、当該入力等を確定できるもの	◎	◎	◎	令和8年4月1日
様式・帳票要件	-	-	20.0.2 各項目の記載	0040234	記載する項目のうち、当該項目について、記載すべきものがない項目(例:国内在住者における「在外選挙人名簿登録市区町村名」、デジタル手続法第9号施行日前に削除となった者における「性別」及び「生年月日」、デジタル手続法第10号施行日前に削除となった者における「住民票コード」等)については、項目名及び項目内容を記載せず、上詰めて表示すること。ただし、在外選挙人名簿及び在外投票人名簿登録者の戸籍又は戸籍の附票の変更通知書(20.2.2参照)において記載すべきものがない項目については上詰めせず「* * *」と表示すること。	◎	◎	◎	記載する項目のうち、当該項目について、記載すべきものがない項目(例:国内在住者における「在外選挙人名簿登録市区町村名」、デジタル手続法第9号施行日前に削除となった者における「性別」及び「生年月日」、デジタル手続法第10号施行日前に削除となった者における「住民票コード」及び法第17条に基づく記載事項として戸籍の附票に記載されていない「氏名の振り仮名」等)については、項目名及び項目内容を記載せず、上詰めて表示すること。ただし、在外選挙人名簿及び在外投票人名簿登録者の戸籍又は戸籍の附票の変更通知書(20.2.2参照)において記載すべきものがない項目については上詰めせず「* * *」と表示すること。	◎	◎	◎	令和8年4月1日
様式・帳票要件	-	-	20.0.2 各項目の記載	追加					なお、氏名及び氏名の振り仮名について、それぞれの氏又は名の一方に空欄がある場合は、当該空欄部分について「(氏空欄)」又は「(名空欄)」と記載する。	◎	◎	◎	令和8年4月1日
様式・帳票要件	-	-	20.0.4 備考欄(異動履歴)の記載	0040240	戸籍の附票の写し(20.1.1参照)、戸籍の附票の除票の写し(20.1.2参照)には、異動履歴を備考として記載するかどうかを選択でき、記載することを選択した場合、以下のように記載すること。 (シート「帳票関連項目等一覧」を参照) ただし、削除となった者が筆頭者であり、当該者が削除された後に戸籍届出等による修正により戸籍の表示としての筆頭者氏名欄の氏に変更が生じた場合、特別の請求又は必要である旨の申出に基づき市区町村長の判断で戸籍の表示(本籍・筆頭者)について表示された際には、備考欄に戸籍の表示における筆頭者氏名欄の氏変更の異動履歴を必ず記載すること。また、戸籍の附票上の住所が削除され、空欄等になった者については、そのことに係る異動履歴を必ず記載すること。	◎	◎	◎	戸籍の附票の写し(20.1.1参照)、戸籍の附票の除票の写し(20.1.2参照)には、異動履歴を備考として記載するかどうかを選択でき、記載することを選択した場合、以下のように記載すること。 (シート「帳票関連項目等一覧」を参照) ただし、削除となった者が筆頭者であり、当該者が削除された後に戸籍届出等による修正により戸籍の表示としての筆頭者氏名欄の氏に変更が生じた場合、特別の請求又は必要である旨の申出に基づき市区町村長の判断で戸籍の表示(本籍・筆頭者)について表示された際には、備考欄に戸籍の表示における筆頭者氏名欄の氏変更の異動履歴を必ず記載すること。また、戸籍の附票上の住所が削除され、空欄等になった者については、そのことに係る異動履歴を必ず記載すること。	◎	◎	◎	令和8年4月1日
様式・帳票要件	-	-	20.0.4 備考欄(異動履歴)の記載	追加					氏名の振り仮名が、戸籍において公証され、法第17条に基づく記載事項として戸籍の附票にそれぞれ初めて記載される場合、新たに振り仮名を記載したものととして履歴を記載すること。この場合、異動前の氏名の振り仮名は空欄とすること。	◎	◎	◎	令和8年4月1日
様式・帳票要件	-	-	20.0.4 備考欄(異動履歴)の記載	追加					また、氏又は名の振り仮名のいずれかが先に戸籍の附票の記載事項として記載され、後から当該振り仮名以外が記載される場合にも履歴を記載すること。	◎	◎	◎	令和8年4月1日
様式・帳票要件	-	20.1 戸籍の附票の写し等	20.1.1 戸籍の附票の写し	0040253	戸籍の附票の写しに記載する項目は以下のとおりとすること。 (シート「項目詳細一覧」を参照)	◎	◎	◎	戸籍の附票の写しに記載する項目は以下のとおりとすること。 (シート「項目詳細一覧」を参照)	◎	◎	◎	令和8年4月1日
様式・帳票要件	-	20.1 戸籍の附票の写し等	20.1.2 戸籍の附票の除票の写し	0040257	レイアウトは、20.1.1に規定する戸籍の附票の写しのレイアウトに以下の変更を加えたものとする(参考までに別紙の帳票一覧・レイアウトに示す。) (帳票一覧・レイアウトExcelを参照) (変更箇所) ・表の左上箇所「除票」表記を加える。 ・削除事由及び事由の生じた年月日を記載する。 ・備考欄に、改製削除年月日(改製で除票となった場合。)を記載する。 ・認証文の「この写しは、戸籍の附票の原本と相違ないことを証明する。」を「この写しは、戸籍の附票の除票の原本と相違ないことを証明する。」に改める。	◎	◎	◎	レイアウトは、20.1.1に規定する戸籍の附票の写しのレイアウトに以下の変更を加えたものとする(参考までに別紙の帳票一覧・レイアウトに示す。) (帳票一覧・レイアウトExcelを参照) (変更箇所) ・表の左上箇所「除票」表記を加える。 ・削除事由及び事由の生じた年月日を記載する。 ・備考欄に、改製削除年月日(改製で除票となった場合。)を記載する。 ・認証文の「この写しは、戸籍の附票の原本と相違ないことを証明する。」を「この写しは、戸籍の附票の除票の原本と相違ないことを証明する。」に改める。 ・氏名の振り仮名に関する注釈の「※戸籍において氏又は名の振り仮名の届出がされていない場合は、(氏空欄)又は(名空欄)と表示されます。」を「※削除となった時点で、戸籍において氏又は名の振り仮名の届出がされていない場合は、(氏空欄)又は(名空欄)と表示されます。」に改める。	◎	◎	◎	令和8年4月1日

戸籍附票システム

機能・帳票要件(第3.0版)項目詳細一覧

機能ID	項目分類①	項目分類②	項目分類③	項目詳細
0040044	当初受付市区町村から転送を受けた他の市区町村が管理すべきデータベース上の項目	転送情報	—	当初受付市区町村
0040044	当初受付市区町村から転送を受けた他の市区町村が管理すべきデータベース上の項目	支援措置の期間	—	支援措置の開始年月日
0040044	当初受付市区町村から転送を受けた他の市区町村が管理すべきデータベース上の項目	支援措置の期間	—	支援措置の終了年月日
0040044	当初受付市区町村から転送を受けた他の市区町村が管理すべきデータベース上の項目	仮支援措置	—	仮支援措置の有無
0040044	当初受付市区町村から転送を受けた他の市区町村が管理すべきデータベース上の項目	仮支援措置	—	仮支援措置の開始年月日
0040044	当初受付市区町村から転送を受けた他の市区町村が管理すべきデータベース上の項目	仮支援措置	—	仮支援措置の終了年月日
0040253	—	—	—	戸籍の表示(本籍・筆頭者)
0040253	—	—	—	氏名
0040253	—	—	—	氏名の振り仮名
0040253	—	—	—	生年月日
0040253	—	—	—	性別
0040253	—	—	—	住所(国外転出先を含む。)
0040253	—	—	—	住所を定めた年月日(転出予定年月日を含む。)
0040253	—	—	—	住所(方書を含む。)の履歴(国外転出先を含む。)
0040253	—	—	—	住所を定めた年月日の履歴(転出予定年月日を含む。)
0040253	—	—	—	住民票コード
0040253	—	—	—	削除となった旨(削除となった者のみ。)

戸籍附票システム

機能・帳票要件(第3.0版)エラー・アラート項目一覧

分類	No	エラー項目	(参考)表示メッセージ例 ※本仕様書では規定しないが参考までに一例を示す	関係する 機能要件 番号	考え方・理由
アラート	10	氏名が未記載の場合	氏名が入力されていません。	1.1.5	氏名については、出生届において名が未定の際、名のみ空欄の場合があるが、それ以外において氏名については空欄が許容されているため、入力漏れを回避するために、名が入力されていないアラートが必要。
アラート	11	氏名の振り仮名が未記載の場合	氏名の振り仮名が入力されていません。	1.1.5	氏名の振り仮名については空欄が許容されているため、入力漏れを回避するためにアラートが必要。
アラート	2626	戸籍の附票記載事項通知を受けて入力しようとした者と氏名(又は氏名の振り仮名フリガナ)・名(又は名の振り仮名フリガナ)・性別・生年月日・住所の組合せが一致する現存者がいる場合	戸籍の附票記載事項通知を受けて入力しようとした者と氏名(又は氏名の振り仮名フリガナ)・名(又は名の振り仮名フリガナ)・性別・生年月日・住所の組合せが一致する現存者がいます。現存者と同一人でないか確認してください。	4.1.3	同一の異動処理である可能性があるため、正確なひも付けのために注意喚起が必要。 なお、当該情報の組合せが一致する可能性もあるため、エラーではなくアラートとする。

戸籍附票システム

機能・帳票要件(第3.0版) 帳票関連項目等一覧

機能名称			機能ID	タイトル	帳票イメージ				
項目①	項目②	項目③							
5 証明	5.3 振り仮名	—	追加	振り仮名を記載する場合の記載例	<p>(氏の振り仮名のみ記載する場合)</p> <table border="1"> <tr> <td>氏名の振り仮名</td> <td>サイトウ (名空欄)</td> </tr> </table> <p>(名の振り仮名のみ記載する場合)</p> <table border="1"> <tr> <td>氏名の振り仮名</td> <td>(氏空欄) タロウ</td> </tr> </table>	氏名の振り仮名	サイトウ (名空欄)	氏名の振り仮名	(氏空欄) タロウ
氏名の振り仮名	サイトウ (名空欄)								
氏名の振り仮名	(氏空欄) タロウ								
—	—	20.0.4 備考欄(異動履歴)の記載	0040240	備考欄(異動履歴)の記載例	<p>■異動履歴</p> <p>氏名：齊藤 太郎</p> <p>令和3年1月20日異動(戸籍届出等による修正) (令和3年1月20日職権)</p> <p>異動項目：氏名の振り仮名</p> <p>異動前：(空欄)</p> <p>異動後：サイトウ タロウ</p> <p>平成28年5月6日異動(転出) (平成28年5月4日職権)</p> <p>異動項目：住所</p> <p>平成18年11月20日異動(戸籍届出等による修正) (平成18年11月20日職権)</p> <p>異動項目：氏名</p> <p>異動前：齊藤 太郎</p> <p>異動後：齊藤 太郎</p> <p>平成15年4月6日異動(転居) (平成15年4月7日職権)</p> <p>異動項目：住所</p> <p>平成7年9月16日異動(転居) (平成7年9月17日職権)</p> <p>異動項目：住所</p> <p>平成2年6月20日異動(戸籍届出等による記載) (平成2年6月20日職権)</p> <p>-----</p> <p>氏名：齊藤 花子</p> <p>令和3年1月20日異動(戸籍届出等による修正) (令和3年1月20日職権)</p> <p>異動項目：氏名の振り仮名</p> <p>異動前：(空欄)</p> <p>異動後：サイトウ ハナコ</p> <p>平成18年11月20日異動(戸籍届出等による修正) (平成18年11月20日職権)</p> <p>異動項目：氏名</p> <p>異動前：齊藤 花子</p> <p>異動後：齊藤 花子</p> <p>平成15年4月6日異動(転居) (平成15年4月7日職権)</p> <p>異動項目：住所</p> <p>平成7年9月16日異動(転居) (平成7年9月17日職権) ☑</p> <p>異動項目：住所</p> <p>平成2年6月20日異動(戸籍届出等による記載) (平成2年6月20日職権)</p>				